

令和7年度社会福祉法人えぼっく事業報告書

1 はじめに

令和7年度についても令和6年度に引き続き、一つひとつの取り組みについて質的な向上を目指す1年となりました。

障がい福祉サービスの支援部門においては、その専門性を磨くことに重点をおき、さらに虐待防止や利用者の意思決定を尊重する職員の意識醸成をすすめました。生活介護についても利用者の過ごし方や日中活動の内容の見直しを行いながら、日中活動部門専任の新たな管理者を採用し体制を強化しました。個別支援計画に基づき、個々へ細やかに継続的な支援を行い、利用者が通所することを心待ちにできるような事業所運営をこころがけました。法人の生活介護や訪問系サービスの利用はグループホーム利用者が大半を占めており、地域の新規利用者の獲得については課題を残しました。

相談部門においては、札幌市からの人員加配もあり、各相談部門の事業所が、地域における多様な相談ニーズにこたえるために、引き続き個々の相談員の質の向上を図る取り組みをすすめました。

さらに法人全体の令和8年度以降の5か年の長期計画を策定しました。

人材確保、処遇改善面においては、ここ数年の人材確保の取り組みの成果もあらわれ、令和8年4月採用の新卒者は9名になりました。また海外からの人材確保も継続して行いました。日本語を母国語としない従業員は30名を超え、支援の現場においては、支援員の3人に1人を占めるまでになり、グローバルな多文化が共生する職場となりました。さらに、各事業所へ法人事務局職員を常駐させる取り組みを開始し令和7年8月にホホエムへの配属を行いました。

また、全正職員の2種類の退職金共済への加入を実現し、将来にわたる待遇の改善を図りました。

子育てをしている職員、家族の介護をしている職員、妊娠中の職員、日本語を母国語としない職員、障がいのある職員等、さまざまな状況にある一人ひとりに対して、細やかな配慮ができる職場づくりを引き続き目指しました。

勤怠管理ソフトを導入し勤怠管理を紙媒体からQRコードの打刻へ変更する取り組みや、勤怠実績から給与ソフトへの連動、オンライン会議における文字おこしツールを導入するなどのIT化を積極的にすすめました。

最後に、利用者も職員も明るい未来をもてること、たった一度きりの人生ですから、どんなに困難な状況になっても、利用者・相談者を見捨てることのない支援・相談、細かいことでも「気配り」や「気にかける」ことができる支援・相談を心がけ実践した1年でした。

2 地域生活支援センター（ともっと・あざれあ・てとる）

2-1 ともっと

<共同生活援助>

- ・令和7年度の入居退去及び現員数（令和8年3月31日現在）
入居1名（きらっと1名）、退去2名（ともっと2号館、ともっと）
現員数 44名（定員49名）
- ・意思決定支援の取組みとして、「食」に関する選択の機会を増やす取り組みを行った。ホームごとで企画し、外食・テイクアウト・バイキングなどの形式により実際にお店で選択したり、メニュー表から選択したり、実物の中から選択するなど個別の状況に合わせて行った。また、「生活時間」に関する取り組みとして、一人ずつ聞き取りし支援マニュアルの改訂の作業を進めた。
- ・宿泊を伴う旅行を4件、日帰り旅行を2件実施した。

日時	旅行先	参加者
4月16日（水）～18日（金）	東京ディズニーランド・ディズニーシー	4名
6月25日（水）～27日（金）	USJ	3名
9月12日（金）～13日（土）	江差・洞爺湖温泉旅行	10名
9月24日（水）	おたる水族館	4名
9月30日（火）	円山動物園	4名
11月7日（金）～9日（土）	東京ディズニーランド・ディズニーシー	4名

- ・9月26日（金）虐待防止研修を実施した。36名が参加し障がい者虐待について学習、グループワークを実施し理解を深めた。
- ・非常災害（地震・火災）を想定した避難訓練、夜間想定避難訓練を各ホーム2回ずつ実施した。グループホームきらっとにおいては、法人事務局と合同の避難訓練を実施した。ともっと5/12（月）・11/5（水）、ともっと2号館5/30（金）・11/5（水）、きらっと・きらっと2号館6/20（金）・10/21（火）、ソレイユ5/30（金）・10/19（日）
- ・令和8年3月13日（金）地域連携推進会議を実施した。利用者様・利用者様ご家族・町内会長・社会福祉協議会職員・グループホーム職員で構成され、グループホームでの生活、苦情・事故・ヒヤリハット報告内容について説明し、またグループホーム内の見学を行った。
- ・新規に成年後見制度を利用した方はいなかった。成年後見人とは、財産管理として生活費についての相談や、身上保護として個別懇談を通じた生活状況の把握など、十分に連携をとった。

2-2 てとる

<居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援>

- ・令和7年度サービス提供数（1,769件）
行動援護（755件）、居宅介護（276件）、重度訪問介護（368件）、移動支援（370件）

- ・総件数は前年比約 1.3 倍、サービス種別で比べると行動援護は約 1.9 倍、重度訪問介護は約 1.1 倍、移動支援と居宅介護は微増となった。
- ・件数増の要因は、通院支援をご家族から引継いだケースが増加したこと、また各グループホームの余暇外出支援が増えた事などが挙げられる。
- ・グループホーム事業所と連携し、歯科通院が困難であった利用者様の通院支援が増加した。
- ・昨年度に引き続き南幌養護学校や札幌養護学校共栄分校への通学支援を実施した。

2-3 あざれあ

<特定相談支援・障がい児相談支援>

- ・登録者は 82 名で、計画作成延べ 70 名、モニタリング作成延べ 70 名となっている。
- ・モニタリング時期や必要に応じてケア会議、サービス調整会議等を開催し、ご利用者の現状把握、支援の方向性について確認し、また各関係機関との連携もより強化できた。
- ・令和 8 年 2 月 12 日（木）、3 月 17 日（火）北広島市による実地指導が実施された。

3 ホホエム

令和 7 年度は、生活介護を中心とした日中活動支援、短期入所、地域生活支援事業（日中一時支援）について、利用者様一人ひとりの特性や生活状況に応じた支援を意識しながら運営を行った。特に、活動内容の幅を広げること、身体を動かす機会を確保すること、日々の取り組みを地域へ発信することに重点を置き、事業所全体として支援の質の向上に努めた。

一方で、年間を通した活動計画の作成、利用者様の達成感につながる継続的な取り組み、関係機関との連携強化については課題が残った。以下、各事業の実施状況、成果、課題および今後の方向性について報告する。

3-1 生活介護

（1）実施状況

- ・利用者様の特性、希望、得意なこと、体調面等に応じた活動提供を目的として、畑活動グループ、運動活動グループ等に分かれた活動を実施した。一定期間においては、目的を持ったグループ活動として取り組むことができ、利用者様が役割を持って参加する場面も見られた。
- ・畑活動では、季節に応じた作業や屋外活動を通じて、自然に触れる機会や作業への参加機会を設けた。活動への参加の仕方には個人差があったが、見学、準備、片付け、簡単な作業など、利用者様の状態に合わせて関わり方を工夫した。
- ・運動活動については、南幌町の体育館を利用し、「えぽスポ」と題して実施した。広い空間で身体を動かす機会を設けることで、体力づくり、気分転換、生活リズムの安定につながる活動となった。
- ・日常活動や行事については、毎月の祝日等を活用し、外出行事や季節行事を実施し

た。季節感を感じられる活動や地域への外出機会を設け、事業所内だけでは得られない経験につなげることができた。

- ・法人 SNS を活用し、活動の様子や日々の取り組みについて情報発信を行った。利用者様の活動の様子を外部に伝えることで、地域への周知や事業所理解の促進につながった。

（２）成果

- ・グループ活動を試行したことで、利用者様の興味や特性に応じて活動を選択する視点を持つことができた。今後の活動体系づくりに向けた基礎的な取り組みとなった。
- ・「えぼスポ」の実施により、身体を動かすことを楽しみにする利用者様も見られ、運動活動を日中活動の一つの柱として位置づける可能性が確認できた。
- ・外出行事や季節行事を通じて、利用者様の表情や反応、好みを把握する機会となり、個別支援に活かせる情報を得ることができた。
- ・SNS での情報発信により、法人内外に対してホホエムの活動内容を伝える機会が増え、地域に開かれた事業所づくりの一步となった。

（３）課題

- ・畑活動や運動活動など、一定期間の取り組みはできたものの、年間を通した計画的・継続的な実践には至らなかった。年度当初から活動の目的、実施時期、担当、準備物、評価方法を整理する必要がある。
- ・活動内容が単発的になりやすく、利用者様が「できた」「続けられた」「上達した」と感じられるような積み重ねの仕組みが十分ではなかった。
- ・運動活動については、体力づくりという目的だけでなく、楽しさ、参加しやすさ、達成感を高めるための種目設定や進行方法に更なる工夫が必要である。
- ・行事については、実施そのものはできたが、事前準備、役割分担、目的設定、終了後の振り返りが十分とは言えず、計画性と内容の充実が課題である。
- ・個々のニーズに合わせた活動提供について、職員間での情報共有や評価の仕組みをさらに整える必要がある。

（４）今後の方向性

- ・令和 8 年度は、年間活動計画を作成し、畑活動、運動活動、創作活動、外出活動、季節行事等について、月ごとの目的と実施内容を明確にする。
- ・利用者様一人ひとりの興味、得意なこと、身体状況、支援上の配慮を踏まえ、参加しやすく達成感を得られる活動内容を検討する。
- ・活動後には簡単な振り返りを行い、利用者様の反応、参加状況、次回への改善点を記録し、活動の質の向上につなげる。
- ・SNS 発信については、単なる活動紹介にとどまらず、事業所の支援方針や利用者様の取り組みが伝わる内容となるよう、継続的に発信していく。

<令和7年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規利用：1名 / 契約終了：3名
- ・生活介護定員：40名 / 利用登録者：47名

<行事・活動等>

日時	内容	実施場所
令和7年5月5日（月）	お花見ドライブ たこ焼きパーティー	栗山公園 ホホエム
7月21日（月）	水遊びレク	ホホエム
8月6日（水）	七夕	ホホエム中庭
8月15日（金）	盆踊り	ホホエム
4月～10月	畑作業	ホホエム農園
9月3日（水）	枝豆収穫	ホホエム農園
4月～11月	畑作業	家嶋農園、ホホエム
10月10日（金）	南幌育成会コンサート	南幌改善センター
11月3日（月）	紅葉ドライブ	島松駅通所
12月12日（金）	ホホエム・ハニカム合同運動会	南幌町ぼろろ
12月25日（木）	クリスマスパーティー	ホホエム
令和8年2月3日（火）	節分、豆まき	ホホエム
2月11日（水）	工作レク	ホホエム

3-2 短期入所

（1）実施状況

- ・利用人数については大きな増減はなく、継続的な利用につながった。生活介護利用者様を中心に、ご家族様の介護負担軽減や緊急時の受け入れを意識しながら利用調整を行った。
- ・日中活動とのつながりを活かし、利用者様の普段の様子や支援上の配慮事項を踏まえた支援に努めた。
- ・新規利用者獲得に向けて、相談支援事業所等との連携を行ったが、特別支援学校との連携強化については十分な取り組みまでには至らなかった。

（2）成果

- ・大きな混乱なく利用を継続でき、利用者様およびご家族様にとって安心して利用できる場として一定の役割を果たすことができた。
- ・生活介護と連動した支援により、利用者様の特性を把握したうえで対応できる強みを活かすことができた。
- ・相談支援事業所との関係づくりを通じて、地域における短期入所ニーズを把握する必要性を再確認することができた。

（３）課題

- ・利用人数に大きな増減がない一方で、新規利用者の受け入れや利用拡大に向けた具体的な取り組みは十分ではなかった。
- ・特別支援学校との連携については、卒業後の生活を見据えた利用相談や体験利用につなげるため、より早い段階から関係づくりを進める必要がある。
- ・緊急時や将来的な家族支援の視点から、短期入所の役割を地域にわかりやすく伝えることが課題である。

（４）今後の方向性

- ・相談支援事業所、特別支援学校、関係機関との連携を強化し、地域における短期入所ニーズの把握に努める。
- ・既存利用者様の安定的な利用を継続しながら、新規利用希望者に対しては見学、相談、体験利用等につながる流れを整理する。
- ・ご家族様の介護負担軽減、緊急時対応、将来の生活を見据えた支援の場として、短期入所の機能を明確にしていく。

３－３ 日中一時支援

（１）実施状況

- ・生活介護利用者様を中心に支援を実施し、継続的な利用につながった。利用人数については大きな増減はなく、日中の一時的な支援ニーズに対応した。
- ・短期入所と同様に、利用者様の普段の様子や支援上の配慮を踏まえながら、安心して過ごせる環境づくりに努めた。
- ・相談支援事業所や特別支援学校との連携については、今後さらに強化が必要である。

（２）成果

- ・既存利用者様に対して、継続的に利用できる支援の場を提供することができた。
- ・ご家族様の用事や休息、生活上の都合に応じた支援として、一定の役割を果たすことができた。
- ・生活介護とのつながりを活かし、利用者様が慣れた環境で安心して過ごせる支援につなげることができた。

（３）課題

- ・利用者様やご家族様のニーズ確認について、定期的・計画的に行う仕組みが十分ではなかった。
- ・新規利用につなげるための情報発信や関係機関への周知については、短期入所と同様に強化が必要である。
- ・日中一時支援としての目的や利用しやすさを整理し、地域のニーズに応じた受け入れ体制を検討する必要がある。

（４）今後の方向性

- ・ご家族様のニーズ確認を継続し、利用しやすい曜日、時間帯、支援内容について検討していく。

- ・相談支援事業所や特別支援学校等との連携を進め、必要な方に情報が届くよう周知方法を工夫する。
- ・利用者様が安心して過ごせる環境づくりを継続し、家族支援の一つとして日中一時支援の機能を高めていく。

＜令和 7 年度の新規利用及び契約終了状況＞

- ・新規利用：1 名

＜総括＞

令和 7 年度は、利用者様のニーズに応じた活動提供を意識しながら、生活介護におけるグループ活動、運動活動、外出行事、季節行事等に取り組んだ。また、法人 SNS を活用した情報発信を行い、日々の活動を地域へ伝える取り組みを進めることができた。

生活介護では、畑活動や「えぽスポ」など、利用者様の活動の幅を広げる実践を行った一方で、年間を通した継続性や計画性、個々の達成感につながる活動づくりについて課題が残った。短期入所および日中一時支援では、既存利用者様を中心に安定した利用につなげることができたが、新規利用者の受け入れ、特別支援学校や相談支援事業所との連携強化については、今後の重要な課題である。

令和 8 年度は、活動の目的と成果を明確にした年間計画を作成し、利用者様一人ひとりが「参加できる」「続けられる」「達成感を得られる」活動内容の充実を図る。また、関係機関との連携を強化し、短期入所および日中一時支援の地域ニーズを把握しながら、利用しやすい体制整備を進めていく。ホホエムとして、日中活動支援の質を高めるとともに、地域に開かれた事業所づくりを継続していく。

4 ハニカム

4-1 生活介護

- ・新規利用者獲得に向けての取り組みとして、相談支援事業所との関わりの中で、新規利用の受け入れ等のアナウンスを行った。又、養護学校から卒業後の利用として見学に来られているが、利用には至っていない。
- ・意思決定支援の取り組みとして、今年度は食の部分に特化し実施した。外食や行事を通し、色々な場面で工夫しながら自身で選択して頂いた。今まで見えていなかった利用者の様子や意外な好み等も発見でき、又、職員の意識の変化が見られた。
- ・日中活動の充実化に向け、体も心もリフレッシュできる活動として、町内の体育館を利用し、体を動かす活動を定期的に継続する事ができ、利用者の楽しみの一つとなった。
- ・虐待防止及び身体拘束の取り組みとして、法人内での研修に参加した。又、事業所内においては、実状に沿った研修として、不適切ケアについて職員間で議論し対策を講じた。
- ・防災については、年 2 回の避難訓練の実施と BCP の研修を行った。又、災害時対応と

して、備蓄品の整理と不足品の把握作業を行った。

- ・事業所内の環境整備として、利用者が快適に過ごせ、質の良い支援の提供が出来るように、ドアの取り付けや、水回りの改修工事を実施した。

<7年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規契約者 0名 契約終了者 0名 (令和8年3月31日現在)
- ・生活介護定員 20名 利用者数 21名

<行事・活動等>

日時	内容	実施場所
令和7年4月29日(火)	祝日レク(スイーツ作り)	ハニカム
5月2日(金)	お花見ドライブ	北広島・恵庭方面
5月5日(月)	祝日レク(焼きそば作り)	ハニカム
5月6日(火)	祝日レク(お花見)	北広ふれあい公園
5月26日(月)	ディナーカラオケ	カラオケ歌屋
7月19日(土)	お好み焼作り&スイカわり	ハニカム
7月19日(土)	南幌ふれあい祭り	改善センター
7月21日(月)	祝日レク(ドライブ)	岩見沢バラ公園
8月11日(月)	祝日レク(アイスパフェ作り)	ハニカム
8月16日(土)	夏満喫〜プールレク	ハニカム
9月20日(土)	BBQ	ハニカム
10月10日(金)	育成会コンサート	改善センター
10月13日(月)	祝日レク(たこ焼き風モダン焼き)	ハニカム
10月29日(水)	紅葉ドライブ	北広・恵庭方面
10月31日(金)	ハロウィンパーティー	ハニカム
11月3日(月)	祝日レク(紅葉ドライブ)	岩見沢方面
11月10日(月)	誕生会	すたみな太郎
12月12日(金)	ホホエム・ハニカム合同運動会	ぼろろ
12月25日(木)	クリスマスパーティー	ハニカム
1月5日(月)〜7日(水)	初詣	南幌神社
1月9日(金)	餅つき大会	ハニカム
2月3日(火)	節分豆まき	ハニカム
2月6日(金)	氷とう祭り	支笏湖
2月11日(水)	祝日レク(カラオケ)	カラオケ歌屋
3月20日(金)	祝日レク(バードウォッチング)	おさつ沼

4-2 日中一時支援

- ・生活介護利用者の利用前後の日中一時支援をおこなった。
- ・令和7年度利用者延べ人数 10名

5 あっと

<共同生活援助>

- ・意思決定支援の取り組みとして、毎月それぞれ個別の外出を計画し、個々に楽しむことができた。また、ホーム単位での外食や小旅行、誕生日会等、希望を聞き取りながら計画を立てて実施することができた。ホームでの過ごし方については、今後の課題と考える。
- ・地域連携推進会議では会議についての説明、ホームでの日常の様子や取り組みについての報告、意見交換を行った。
- ・防災については、年2回の避難訓練の実施とBCPの研修を行った。また、災害時対応として、備蓄品の整理と不足品の把握作業を行った。
- ・快適な生活環境の提供として、生活空間の備品の交換や配置換え、壁の修理等を行い、住みよい生活の場の提供に努めた。
- ・虐待防止及び身体拘束の取り組みとして、法人内での研修に参加した。また、事業所内における研修として、不適切ケアについて職員間で議論し対策を講じた。

6 八丁平共生型センターはっち

6-1 ろぐらん

<生活介護>

・看護師が2名体制となり、これまで利用がなかった曜日に、医療行為を必要とする医療的ケア者の受け入れに柔軟に対応できるようになり、若干ではあるが回数増となった。今年度はさらに3号研修修了者が1名増え、新年度に向け十分な体制で医療的ケアの提供が可能と考える。

また、入浴サービスの受け入れを増やすことで、利用希望が増えた。

・今年度は外部講師による身体介護技術研修を受ける機会は例年より少なかったが、介助技術の維持・向上と職員間の介助技術差を減らすため、日々の振返りや習得した技術を後い確認することを重点に置いた。

・支援計画と連動した支援を行うため、記録の書き方の重要性の認識を高めるために、関連書籍の読み合わせなど事業所内研修を実施した。

・1日の利用者数が少なく、稼働率が低いため利用者の獲得が課題であるが、来年度は新規利用者1名を見込む。

<令和7年度の新規利用及び契約終了状況>

- ・新規 0名 契約終了者 0名 令和8年3月31日現在
生活介護定員 20名 利用者数 17名（平均稼働率27.8%）

6-2 らんらん

〈居宅介護・重度訪問介護・移動支援〉

- ・重度訪問介護の支給決定量を最大限活用し、継続してがあだばーと入居者の利用回数を増やし利用者ニーズに対応した。
- ・重度訪問介護の移動加算についても、現在の利用者ニーズに対応した。
- ・その他居宅介護利用者については、通院介助、家事援助、移動支援等は、前年度と同様の利用頻度だった。
- ・移動支援についても、継続して定期的な利用ニーズに対応した。

7 きたひろしま暮らしサポートセンターぽると(北広島市委託事業)

7-1 〈生活困窮者自立相談支援〉

(1) 自立相談支援事業

- ・新規相談件数は113件で、継続支援件数は700件、終結件数は107件。
- ・支援プラン作成は135件、就労者数は31名、増収者数は15名。支援件数は面談1232件、電話2,579件、訪問878件、同行支援461件、関係機関との連携は1,682件となっている。
- ・相談内容件数(重複あり)は、家計に関する支援が4,046件、就労に関する支援2,250件、病気障害に関する支援が1,920件、住まいに関する支援が1,310件、福祉制度に関する支援が1,200件、家族関係に関する支援が1,192件、不安解消の支援が1,134件となっている。
- ・住居確保給付金の新規申請相談のべ件数は80件。そのうち転居費用補助の相談が38件。住居確保給付金申請者が11名、支給決定者が10名となっている。
- ・新型コロナに関する制度(特例貸付)の償還が相談者に対し、調査意見書を提出し、猶予あるいは免除の手続きを現在も継続して行っている。
- ・特定被保護者の相談対応を行った。家計改善支援が9名、就労準備支援が2名、居住支援が1名。相談対応のべ件数は707件だった。
- ・毎月第1・3土曜の10:00~12:00土曜相談、13:00~15:00ひきこもり相談という時間を設け、平日以外の相談対応も行った。市の広報誌に掲載をし、ラインビジネスを利用した相談受付体制も継続した。土曜相談の相談対応件数は339件。そのうち新規相談者は26名、相談対応件数は74件だった。
- ・令和7年度のひきこもり新規受付数は10名。初回相談受付方法は、来所1件、電話9件。
本人からの相談が1件、家族からの相談が3件、親戚からの相談が1件、その他関係機関からの相談が5件だった。すべてのひきこもり相談者に就労準備支援事業の情報提供を行った。そのうち事業登録につながった方が5名だった。

(2) 家計改善支援事業

- ・家計に課題を抱える相談者の相談に応じ、家計収支状況が見える化し、相談者の対処意

欲を引き出せるよう支援を行った。

- ・相談継続実人数 114 名、家計改善支援プラン作成件数 108 件。
- ・支援内容件数は、家計管理に関する支援は 1,952 件、滞納解消・制度利用に関する支援は 2,443 件、債務整理に関する支援は 852 件、貸付に関する支援は 456 件、その他の支援(家族間調整、食料支援など)は 413 件だった。
- ・プラン作成者のうち、家計管理への意欲増大者が 26 名、収支バランスの改善者が 39 名、債務の減少が 20 名、滞納の減少が 23 名、その他(増収者 19 名、家族間調整 28 名)
- ・特定被保護者の対応および、認知面の課題がある相談者の家計支援対応が増えてきている。

(3) 就労準備支援事業

- ・お仕事探しに課題を抱える相談者の相談に応じ、一人ひとりの状況や目標に合わせた就労準備支援プログラムを作成し、個別支援およびグループ支援を行った。
- ・相談継続実人数 23 名、就労準備支援プログラム作成件数 24 件。
- ・日常生活自立支援：居場所活動 24 回実施、参加のべ人数 70 名
(創作活動、レクリエーション、調理など)
農作業 26 回実施、参加のべ人数 76 名
- ・社会生活自立支援：ボランティア活動 55 回実施、参加のべ人数 154 名。
ポスティング活動 40 回実施、参加のべ人数 103 名。
- ・就労自立支援(求人検索・履歴書・面接対策) 16 回実施、参加のべ人数 1 名。
- ・その他、個別支援として定期面談を重ね、求人情報検索・履歴書作成・面接練習実施を行った回数のがのべ 51 件。ハローワーク札幌東やジョブガイドへの同行支援を 4 名の相談者に対して行った。
- ・就労が決まった方が 4 名、就労意欲が増大した方が 12 名、求職活動を開始できた方が 5 名、通院し診断がつき福祉的就労を検討した方が 4 名、家族以外と接する機会が増加した方が 9 名となった。
- ・地域資源を活用した企画をし、エスコンスポーツフェスティバル、元気フェスティバル、坐禅などの企画を新たに取り入れた。
- ・ポスティング活動に加え、農作業の活動に参加した相談者に活動費を支給した。そのうち農作業の活動費は月末締め翌月払にし、継続して就労する意欲をひきだせるよう支援した。
- ・特定被保護者の対応として、関係機関と連携し、自宅からなかなか外に出られない相談者の訪問対応を継続した。

(4) 学習支援事業

- ・毎週火曜日 17:00～19:00 に中学生を対象に数学と英語の学習の機会を提供した。長期休み期間(夏休み・冬休み)には自習室を 10:00～12:00 に開催した(開講数は火曜開講 49 回、夏休み 10 回、冬休み 7 回、春休み 3 回)。

- ・生徒は 16 名の登録があり年間の延べ参加人数は 408 名（火曜開講 327 名、長期休み自習室 81 名）であった。
- ・支援員はコーディネーター 1 名(教員 OB)、学習支援員は 16 名(大学生ボランティア)の登録があり、延べ参加人数は 172 名(火曜開講 133 名、夏休み自習室 19 名、冬休み自習室 13 名、春休み自習室 7 名)であった。
- ・長期休み期間には食事提供を行う日を設けたり、大学生企画のレクリエーションも実施した。
- ・特別な配慮を必要とする生徒の登録があり、特別支援コーディネーターの募集を行った。

（５）居住支援事業（旧一時生活支援事業）

- ・住居のない方を対象に、一時的に食住を提供しながら自立にむけて支援。（きらっと GH 一室）
- ・相談件数は 6 件。愛知県から市内へ来た方 1 名、青森県から道内へ移ってきた中国国籍の方 1 名、交際相手から家を出ていくと言われた方 1 名、両親との折り合いが悪く実家を出たい方 1 名、車中泊をしていたが交通事故にあい車喪失した方 1 名、住み込みの仕事を探したいという方 1 名。
- ・市と協議をし、利用に至った方は車中泊の 50 代男性 1 名（利用日数 5 日間）。体力的に衰弱しているが入院受入れが不可だったため、通院同行支援もあわせて行った。
- ・利用に至らなかった相談者に対しては、住まいの支援を行った。つなぎ先としては、居住支援業務事業所 2 名、一般賃貸住宅 1 名、救護施設 1 名、下宿 1 名となった。

7-2 〈独自事業〉

（１）食料支援

- ・フードバンクぼすことの協力のもと、困窮世帯に対し毎週水曜日に食料や日用品の提供を行った。利用のべ世帯数は 1,012 世帯、年間の利用のべ人数は 1,894 名だった。
- ・水曜日以外にも関係機関等から緊急食料支援の要請があった場合にも対応を行った。生活保護受給者へ 15 件、市外対応 24 件。
- ・エスコンフィールドから寄付があった飲み物等を地域の福祉団体 23 か所(北広島市 18 か所、札幌市厚別区 5 か所)へ寄贈した。

（２）居住支援業務えぼっく

- ・住まいに関する相談対応を行った。相談対応実人数 19 名。そのうち北広島市内の方が 12 名、札幌市の方が 5 名、登別市が 1 名。つなぎ先としては、一般賃貸住宅(不動産会社)が 4 名、他の居住支援業務法人が 2 名、医療機関が 1 名だった。その他は現在も支援継続中。

（３）無料職業紹介所えぼっく

- ・求人者と求職者の間に入り、求人者には求人情報の登録、求職者にはその求人情報の提供を業った。求人者の 2 ヶ所から登録依頼があり、19 歳女性 1 名、40 代男性 1 名、50 代男性 1 名の求職者の雇用が成立した。求人者と求職者をつなぐにあたり、職場見学に同行し、面談を実施した。

8 札幌市障がい者相談関連委託事業（札幌市厚別区 相談室ますとびいー）

8-1 札幌市障がい者相談支援事業

<札幌市障がい者相談支援・一般相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業>

- ・委託相談については、新規登録者は111件。終結ケースが、117件。終結ケースを除いた登録者数は、434件。（うち、計画相談支援165件、障害児相談4件）
- ・訪問件数については、1532件の実績を上げ、市内18事業所で最も多い対応となっている。
- ・計画相談の新規契約数は、2件。委託相談で対応すべきケースを見極めながら、指定に引き継げる場合は、引継ぎを行い、11ケースの引継ぎを行っている。
- ・新規で相談を受け付けた件数は、ご本人・ご家族からの相談は、134件。（前年156件）関係機関からの相談は109件（前年125件）。今年度も本人・ご家族から相談が多い傾向だった。中でも就労事業所探しやヘルパー利用の相談が多かった。
- ・厚別区地域部会においては、令和7年度に相談チームを立ち上げ、令和8年度は、より具体的な活動を展開していく予定。引き続き事務局として、幹事会・地域部会の円滑な運営を実施している。
- ・新規採用者を中心に、定期的な振り返りの場を作り、業務の習熟度や次のステップについて確認している。また、職員全体のスキルアップについては、年間で内部研修の計画を立て、実施することができている。

8-2 地域ぬくもりサポート事業

- ・イオンのイベントを定期開催する中で、周知活動を実施。少しずつ、サポーター、利用者の拡大につながった活動ができた。新規にサポーター登録された方を積極的にマッチングできるように調整を図った。
- ・サポーター向け研修も開催し、サポーター同士が交流する機会を設けることができ、日ごろの活動の共有などを図ることができた。また、日ごろからサポーターが活動で不安にならないよう、相談を受けながら、丁寧な対応を引き続き心掛けて対応してきた。

8-3 札幌市夜間休日虐待通報等受付、緊急受入先調整、一時保護業務

- ・令和6年度から精神科病院内の虐待通報の受付業務を行うこととなり、対応についての技術向上と職員間で情報の共有を図っている。
- ・夜間、休日等の電話受付職員を配置し、通報者からの電話について対応することができた。
- ・虐待による緊急対応例は少なかったが、必要に応じて委託元である市とも協議しながら、電話の対応の仕方について引き続き職員間で情報共有を図りながら対応をしていく。

8-4 被虐待障がい者の地域生活支援調査研究事業

- ・令和7年度も引き続き札幌こころのセンターからの受託。長期間にわたり監禁・虐待を受けた後、精神科病院での入院を経て、地域生活を送る被虐待障がい者の回復に向けたアプローチ方法についての調査研究事業を実施した。
- ・事業実施にあたっては、地域支援を実践している他法人とも連携しながら取り組んだ。

9 札幌市障がい者相談関連委託事業の実施(札幌市北区 相談室ぼぷら)

9-1 札幌市障がい者相談支援事業

<札幌市障がい者相談支援・一般相談支援・特定相談支援・障害児相談支援事業>

- ・令和7年度から北区の委託支援体制の地区割制の試行実施に伴い、北区の北部の地区を担当し、令和6年度に比べて相談受付数が増加した。
地区割制の効果として、相談者本人からの相談だけではなく、関係機関からの相談も増加し、関係機関と連携しながらの相談対応も増加している。
- ・令和7年4月～令和8年3月の年間の登録者は171名、令和6年度からの継続件数も含めると237名となっている。(相談の総数は218件)なお、計画相談支援の契約については、14名。
- ・相談者は精神疾患の方が5割を占めている。令和7年度は児童のケースで、小学校からの相談受付が急増している。多子世帯、不登校・行き渋りや要保護児童対策協議会の対象の児童のケースへの対応などもあり、児童相談所、スクールソーシャルワーカーとの連携も増えてきている。
- ・支援方法については、延べ5,618件の内、関係機関とのやり取り2,944件で事業所、病院、児童相談所など多くの関係機関とのやり取りがあった。
次いで電話相談1,266件、訪問500件、ぼぷらに来所相談は148件となっている。
- ・札幌市自立支援協議会の北区地域部会の事務局を他の2か所の委託相談事業所とともに引き続き担当し、東区の委託事業所2か所との東北エリア会議にも参画している。
- ・札幌市自立支援協議会の相談支援部会に副部長として会議に参画している。令和7年度においては、札幌市の障がい者プラン2024の一部改定に向けて、障がい者プラン計画検討部会課題整理チームにも参画し、相談支援部会ではこれまで部会内で挙がっていた課題などを整理し、提言としてまとめている。
- ・フードドライブは令和7年度もスーパーアークスノース店に引き続き依頼しており、72.2kgの食料品を集荷し、生活保護の受給に至らずに食事に困っている相談者へ配布した。

10 法人独自公益事業

10-1 居住支援事業所えぼっく

<住宅確保要配慮者への居住支援>

- ・令和7年度居住支援協議会等活動支援事業補助金(補助金額金1,858,534円)を活用し、居住支援活動に取り組んだ。住宅確保要配慮者の情報と居住支援法人えぼっくのPRを進めるため、北広島市、きたひろしま暮らしサポートセンターぽると、相談室ますとびいー、相談室ぽぷら、高齢者支援センター等と連携を図り、早期に相談者の課題改善に向けた支援ができるよう、協力体制の強化を進めた。

<フードバンクぽすこ>

- ・きたひろしま暮らしサポートセンターぽるとが支援する生活困窮世帯に対し毎週水曜日に食料や日用品の提供を行った。利用のべ世帯数は1,012世帯、年間の利用のべ人数は1,894名だった。
- ・水曜日以外にも関係機関等から緊急食料支援の要請があった場合にも対応を行った。生活保護受給者へ15件、市外対応24件
- ・エスコンフィールドから寄付があった飲み物等を地域の福祉団体23か所(北広島市18か所、札幌市厚別区5か所)へ寄贈した。

10-2 青色防犯パトロール

- ・令和7年度においても、北広島市全域の青色防犯パトロール活動をおこなった。市役所から不審者情報の提供があった場合、特にその地域を重点的にパトロールし、不審者の出没の抑制に努めた。また、令和7年5月16日に北広島市防犯協会連合会による青色回転灯パトロール講習会に参加した。

<令和7年度実績>

月 別	実施回数	のべ参加人数	備考(パトロール中に得た情報等)
令和7年4月	11回	22人	4/9、4/15、4/17×2、4/25市より不審者情報の提供あり
5月	6回	12人	特に異常なし
6月	8回	16人	6/26市より不審者情報の提供あり
7月	8回	16人	7/14、7/16市より不審者情報の提供あり
8月	11回	22人	特に異常なし
9月	10回	20人	9/11、9/17市より不審者情報の提供あり
10月	13回	26人	10/8、10/23、10/24、10/27市より不審者情報の提供あり
11月	12回	24人	11/19市より不審者情報の提供あり

12 月	12 回	24 人	特に異常なし
令和 8 年 1 月	7 回	14 人	特に異常なし
2 月	7 回	14 人	2/5 市より不審者情報の提供あり
3 月	11 回	22 人	3/3、3/4、3/17、3/24 市より不審者情報の提供あり
計	116 回	232 人	

11 えぼフェスタ 2025 の開催

- ・令和 7 年 7 月 12 日（土）にホホエムの敷地内でえぼフェスタ 2025 を開催した。
 昨年に引き続きピエロのぐっちさんを招いてのマジックショーや、広葉中学校吹奏楽部の演奏、さんでーろけんろうのバンド演奏などの出演他、飲食・販売ブースではキッチンカー、縁日コーナーなどの販売などを行った。
 19 名のボランティアの参加があり、各ブースの対応をお願いした。
 北広島市内全域と共栄町内会の世帯向けにチラシを配布し、地域の方にも来場していただき盛り上がりのあるお祭りを開催することができた。

12 法人全体の職員研修会・交流会の開催

- ・令和 7 年 5 月 24 日（土）に法人の全役職員を対象に研修会と交流会を開催した。
 研修会では、NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会代表理事・日本医療大学総合福祉学部介護福祉マネジメント学科教授の照井レナ様、株式会社シーポーと代表取締役の松本未香様を講師としてお招きし、照井様には『Go！Fly！Wheelchairs』を、松本様には『フェ障害児センターへの原画を通じた支援』をテーマにして、法人の職員 6 名と一緒に壇上でご講演していただいた。
 車いすの再利用、ベトナムでの福祉活動などについて理解を深めることができ、職員がボランティアや海外での活動により関心を持つきっかけとなった。職員の子どもを含めた役職員と来賓を合わせて 113 名が参加した。

13 利用相談窓口

- ・南幌養護学校や白桜高等学園から実習に向けた事前見学、実習の打ち合わせ、巡回などの連絡調整を行った。
- ・相談支援機関や家族会から利用相談や見学の対応が 12 件あった。新年度に向けて新規利用へつながったケースが 1 件あった。

14 人材確保への取り組み

- ・人材確保の方策としてマイナビを活用し、令和8年度及び令和9年度卒業予定の学生を対象とした1Dayインターンシップ（支援職・相談職・事務職・キャリア職）等を設定し、多くの学生にえぼっくの取り組みや事業所の概要などの説明を行った。マイナビからえぼっくを通じたエントリーは25件あり、そこから見学会や説明会へ誘導するための方策検討が課題となっている。

＜マイナビ2026のイベント等の参加状況＞

令和7年5月21日(水) ハローワーク 会社説明会・ミニ面接会 12名ブース参加

令和7年7月6日(日) 福祉人材センター 職場説明会 6名ブース参加

令和7年11月7日(金) ハローワーク 新卒者・若者 企業説明会 0名ブース参加

令和7年12月13日(土) 福祉人材センター 福祉のしごと就職フェア 5名ブース参加

令和8年3月15日(土) 福祉・介護業界 就職セミナー 7名ブース参加

法人の説明会・見学会 18名参加

1Dayインターンシップ	支援職コース	2名参加
	相談職コース	1名参加
	事務職コース	2名参加
	キャリアコース	1名参加

15 各事業所の事故対応状況について

- ・令和7年度は服薬事故が通所事業所で発生した。実事例をもとに服薬事故防止対策会議を行い、再発防止について確認した。

＜令和7年度の事故等対応報告集計について＞

	ハニカム	ホホエム	ともっと	はっち	合計
ケガ・転倒	2	0	2	0	4
服薬	0	1	0	1	2
苦情・その他	0	2	6	0	8
ひやりはっと	26	20	30	8	84

16 各事業所の避難訓練ならびに非常災害に向けた取り組みについて

- ・相談室ますとびいーにおいてはBCP策定し、内容について継続して協議や実際の災害時を想定した訓練を実施した。他事業所は主任会議の中で内容について協議を続け、基本的な内容については整備された。

＜各事業所の避難訓練状況＞

○ハニカム ～令和7年9月12日（金） 令和7年10月27日（月）

○あっと

・あっと ～令和7年7月15日（火） 令和8年3月26日（木）

・もっと ～令和7年7月18日（金） 令和8年3月30日（月）

○ホホエム ～令和7年5月22日（木） 令和7年10月23日（木）

○地域生活支援センター

・ソレイユ～令和7年5月30日（金） 令和7年10月19日（日）

・きらっと～令和7年6月20日（金） 令和7年10月21日（火）

・ともっと～令和7年5月12日（月） 令和7年11月5日（水）

・ともっと2号館～令和7年5月30日（金） 令和7年11月5日（水）

○はっち ～令和7年4月10日（木） 令和7年11月13日（木）

17 理事会の開催

日時	出席理事 監事	議事・報告事項
第1回理事会 令和7年6月3日 （火）	理事6名 監事2名	議案第1号 令和6年度事業報告書（案） 議案第2号 令和6年度収支決算報告書（案）並びに監査報告について 議案第3号 令和6年度社会福祉充実残額の算定について 議案第4号 評議員任期満了に伴う次期評議員候補者の評議員選任解任委員会への推薦について 議案第5号 理事候補者の評議員会への選任案の提出について 議案第6号 監事候補者の評議員会への選任案の提出について 議案第7号 令和7年度定時評議員会の招集について 議案第8号 理事長の役員報酬の改定について 報告事項1 理事長の業務執行状況報告について
第2回理事会 令和7年6月25日 （水）	理事5名 監事1名	議案第1号 理事長の選任について 議案第2号 社会福祉法人えぼくく評議員選任・解任委員の選任について
第3回理事会 令和7年10月28日 （月）	理事6名 監事2名	議案第1号 育児・介護休業規程の改正について 報告事項1 地域連携推進会議について 報告事項2 前回報告以降の道への事故報告について 報告事項3 理事長の業務執行状況報告について
第4回理事会 令和7年12月12日 （金）	理事6名 監事2名	議案第1号 借上げ社宅管理規程の制定について 議案第2号 共同生活援助地域連携推進会議規程の制定について

		報告事項 1 令和 7 年度上半期予算の執行状況について 報告事項 2 理事長の業務執行状況報告について
第 5 回理事会 令和 8 年 2 月 13 日 (金)	理事 6 名 監事 2 名	議案第 1 号 給与規程の改定について 報告事項 1 名称修正後の地域連絡推進会議規程及び地域連絡推進委員について 報告事項 2 理事長の業務執行状況報告について
第 6 回理事会 令和 8 年 3 月 18 日 (水)	理事 6 名 監事 1 名	議案第 1 号 令和 7 年度第一次補正予算について 議案第 2 号 令和 8 年度事業計画 (案) について 議案第 3 号 令和 8 年度当初予算 (案) について 議案第 4 号 法人 5 か年計画 (案) について 議案第 5 号 経理規程の改定について 議案第 6 号 就業規則の改定について 議案第 7 号 金銭管理規程の改定について 議案第 8 号 共同生活援助地域連携推進会議規程の改定について 報告事項 1 ソレイユの移転について 報告事項 2 理事長の業務執行状況報告について

18 評議員会の開催

日時	出席 評議員	議事・報告事項
定時評議員会 令和 7 年 6 月 25 日 (水)	6 名	議案第 1 号 令和 6 年度事業報告書 (案) について 議案第 2 号 令和 6 年度収支決算報告書 (案) 並びに監査報告について 議案第 3 号 令和 6 年度社会福祉充実残額の算定について 議案第 4 号 社会福祉法人えぼっく理事の選任について 議案第 5 号 社会福祉法人えぼっく監事の選任について 議案第 6 号 理事長の役員報酬の改定について

19 監事監査の実施

監査実施日	出席監事	内容
令和 7 年 10 月 28 日 (金)	上田監事	令和 7 年度第一四半期会計監査
12 月 12 日 (金)	池田監事	令和 7 年度第一四半期、第二四半期業務監査
令和 8 年 2 月 13 日 (火)	上田監事	令和 7 年度第二四半期会計監査
2 月 13 日 (火)	池田監事	令和 7 年度第三四半期業務監査
3 月 26 日 (金)	上田監事	令和 7 年度第三四半期会計監査

5月18日（月）	池田監事	令和7年度第四四半期業務監査
5月20日（水）	上田監事	令和7年度決算会計監査

20 第三者委員活動の実施

<委員名簿>

今井 明日香 委員（弁護士）

佐々木 明美 委員（学校法人吉田学園 非常勤講師）

松岡 是伸 委員（北星学園大学社会福祉学部 教授）

開催日	出席者	内容
令和7年5月27日（火）	第三者委員3名 法人職員	令和6年度下期各種事故報告、第三者委員より
12月10日（水）	第三者委員3名 法人職員	令和7年度上期各種事故報告、令和7年度の 第三者委員による事業所訪問について

<第三者委員による事業所訪問>

訪問日	訪問先	第三者委員
令和7年8月6日（水）	はっち	今井委員
令和8年3月12日（木）	ともっと	今井委員
3月17日（火）	ハニカム	松岡委員
3月30日（月）	ホホエム	佐々木委員

21 法人内研修の開催

<虐待防止研修>

- ・令和7年12月17日（水）場所：ともっと 参加者37名
（ともっと・ホホエム・ハニカム）

<新採用者研修>

- ・令和8年3月25日（水）・26日（木） 参加者9名

<八丁平共生型センターはっち介護技術研修>

- ・令和7年4月25日（金）

<防災研修>

- ・令和7年4月15日（火）場所：ますとびいー 参加者10名
- ・令和7年10月17日（金）場所：ますとびいー 参加者9名
- ・令和8年3月21日（土）場所：ぼると 参加者4名

<計画相談研修>

- ・令和7年11月7日（金）場所：ますとびいー 参加者9名

<夜間休日虐待通報研修>

実施なし

<個人情報保護の取扱いについての研修>

- ・令和7年7月18日（金）場所：ますとびいー 参加者14名
- ・令和8年3月21日（土）場所：ぼると 参加者4名

22 各種委員会の開催（別添委員名簿参照）

<虐待防止委員会>

開催日	内容
令和7年9月1日（月）	ホホエム・ハニカム虐待防止研修（参加29名）
令和7年9月11日（木）	第1回虐待防止委員会 研修予定、研修の振り返り
令和7年9月26日（金）	ともっと虐待防止研修（参加32名）
令和7年10月14日（火）	はっち虐待防止研修（参加15名）
令和7年12月17日（火）	合同虐待防止研修（参加36名）

<身体拘束適正化委員会>

開催日	内容
令和8年2月24日（火）	ケース検討、支援の適正化について

<感染症対策委員会>

開催日	内容
令和7年6月18日（水）	直近の感染状況について
令和7年12月10日（水）	インフルエンザの感染状況、BCPについて

<えパレット委員会>

開催日	内容
令和7年5月9日（金）	事業所PR動画について、年間スケジュールについて
令和7年6月13日（金）	当事者会①えぼフェスタについて
令和7年7月18日（金）	えぼフェスタ振り返り
令和7年8月8日（金）	当事者会②えぼフェスタ振り返り、ボッチャ大会について
令和7年9月12日（木）	ボッチャ大会、次回えぼフェスタについて
令和7年10月10日（金）	当事者会③今気になっていること
令和7年12月12日（金）	当事者会④次回えぼフェスタでやってみたいこと
令和8年1月9日（金）	当事者会の名称募集、新年会について
令和8年2月13日（金）	当事者会⑤名称について

令和 8 年 3 月 13 日 (金)	令和 7 年度の振り返り、P R 動画について
---------------------	-------------------------

<広報委員会>

開催日	内容
令和 7 年 6 月 19 日 (木)	広報誌について
令和 7 年 9 月 10 日 (水)	広報誌・カレンダーについて
令和 7 年 10 月 24 日 (金)	広報誌について

23 外部研修への参加

開催日	研修内容等	参加者数
令和 7 年 5 月 13 日 (金) ～ 7 月 1 日 (火)	介護職員初任者研修	2 名
令和 7 年 6 月 2 日 (月)	人材育成とスキルアップ研修および令和 7 年度新任職員研修	2 名
令和 7 年 7 月 15 日 (火) ～ 9 月 9 日 (火)	介護職員初任者研修	1 名
令和 7 年 7 月 29 日 (金)	技能実習責任者講習	1 名
令和 7 年 10 月 8 日 (水)	札幌刑務支所概況及び福祉支援の実際の説明、施設内見学、意見交換会	1 名
令和 7 年 11 月 4 日 (火)	8050 事例を用いた多職種研修	2 名
令和 7 年 11 月 11 日 (火)	令和 7 年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	1 名
令和 7 年 11 月 20 日 (木) ～ 11 月 21 日 (金)	介護職員等の痰吸引等研修 (特定の者を対象とする研修【第 3 号研修】)	1 名
令和 7 年 11 月 21 日 (金)	令和 7 年度 札幌児童発達支援研修会について	1 名
令和 7 年 11 月 21 日 (金)	令和 7 年度 札幌児童発達支援研修会について	1 名
令和 7 年 12 月 1 日 (月)	令和 7 年度 児童虐待予防・防止研修会	1 名
令和 7 年 12 月 12 日 (金)	令和 7 年度札幌市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム研修会	1 名
令和 8 年 2 月 4 日 (水)・5 日 (木)	サービス管理責任者研修	1 名

24 寄付の受け入れ

受領日	寄付者	物品等	寄付の用途
令和7年7月12日(土)	社会福祉法人空知の風	現金 10,000 円	法人の活動のため
令和7年7月12日(土)	社会福祉法人新冠ほくと園	現金 10,000 円	法人の活動のため
令和7年12月24日(水)	北海道信用金庫ひまわり財団	現金 50,000 円	法人の活動のため
令和7年12月24日(水)	南幌町社会福祉協議会	現金 20,000 円	法人の活動のため
令和8年1月30日(金)	個人1名	じゃがいも 30kg	法人の活動のため

25 技能実習並びに特定技能の受け入れ並びに生活支援等

1. 受け入れ状況（令和8年3月31日現在）

- ・総数：32名
 特定技能：30名
 技能実習生：2名
- ・国籍別
 ベトナム：16名
 インドネシア：5名
 ミャンマー：11名
- ・男女別
 男性：17名
 女性：15名

2. 新規受け入れ

- ・特定技能職員：14名が新規入職
- ・配置先：とものと、ホホエム、ハニカム
- ・昨年度整備した社宅・住環境を活用し、円滑な受け入れを実施。

3. 日本語学習支援

- ・日本語レベル別に、平日夜間の日本語学習を継続実施。
- ・介護現場で必要となる語彙・会話力の向上を重点に支援。

4. 資格取得支援

- ・希望者を対象に介護福祉士資格取得に向けた研修を実施し、学習計画支援や過去問題の解説、受験手続きのサポートなど、合格に向けた支援を継続した。

26 海外研修の実施

- ・海外人材の受入がすすむなかで、日本人従業員が、アジア諸国現地で障がい者福祉の現状を学ぶとともに、多文化共生のこれからの時代にふさわしい国際感覚を身につける一歩として、直接、海外の空気に触れる機会を設定した。

日 時 令和7年8月25日（月）～9月1日（月）

訪問先 ベトナム（ハノイ、フエ、ダナン）

- ・人材を送り出している機関を訪問、見学。
- ・「飛んでけ！車いす」の会の運搬ボランティアとして現地に車いすを届ける活動
- ・フエ市の LONG THO 寺障害児保護センターでのボランティア活動等

参 加 役職員5名

27 令和8年度以降の法人本部敷地の活用と、既存建物の有効活用についての検討

令和8年度の事業計画と並行して法人5か年計画を作成した。

28 令和7年度えぼっく年間利用実績

- ・別添令和7年度えぼっく年間利用実績参照。